

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト みやぎ

No.22

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟

発行日
平成21年6月30日



ボーイスカウト宮城県連盟年次総会開催 於：登米市迫公民館

広報委員長 柿沼 富雄

平成21年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会は、晴天に恵まれた、5月9日・10日の両日、登米市迫町の迫公民館において、県北地区が主管し、県連・各団代表・県連役員約60名が出席して開催されました。

開会式では、国旗儀礼に始まり、おきての唱和、次に村井連盟長の式辞を郷家照夫副連盟長が代読し、平成20年度の日本連盟・県連盟からの各種有功章・感謝章が紹介、贈呈されました。御来賓として出席の顧問の中野正志様（衆議院議員）、登米市教育長・佐藤寿昭様（市長代理）、県教育庁生涯学習課・村石好男様（県教育長代理）にご祝辞をいただきました。また、県教育庁生涯学習課（ボーイスカウト担当）石川寛之様、鷹尾友宏様（西村明宏衆議院議員秘書）の出席をいただきました。

総会議事に入り、県北地区協議会長の渡辺昭彦様が議長に選出され、平成20年度事業報告・収支決算報告の承認を求める件、他、平成21年度事業基本方針等、原案通り承認され、合わせて、渡辺議長のスムーズな議事進行に大きな拍手がおくられました。

今総会では、役員が大幅に交替し芳賀新理事長体制での船出。県の加盟登録数の減少に歯止めを掛ける様、更なるスカウト運動を進めなければならない。深刻なるこの事態を一人ひとり真摯に受け止めた上で“広めようスカウティングの楽しさをみんなに”の基本方針に向かって努力することを誓い合って、推進方法を検討した総会でありました。

平成21年度年次総会式辞

日本ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村井 嘉浩

若葉青葉をわたる風も早く感じられます今日この頃、平成21年度ボーイスカウトみやぎ県連盟年次総会を挙行できますことを大変喜ばしく思います。

皆様方には宮城県のスカウト活動の普及・啓発のため、日々御努力いただいておりますことに感謝申し上げます。

また、本日の表彰の栄に浴されました皆様方には、宮城を担う青少年の健全育成のため、献身的にスカウト活動を支援していただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、昨年度は、世界スカウト運動創始１００周年を経て、新たな一步を踏み出す年でしたが、皆様におかれましても、スカウト運動の原点を見つめ直す貴重な一年となったのではないかと思います。

さて、近年、スカウトの加盟員が減少傾向にあるという状況ではありますが、青少年の自立をめざし、社会に奉仕するという私たちの取組は、極めて重要であります。指導者とスカウト一人ひとりが、常に「そなえよつねに」の姿勢をもち、小さくとも意義のある活動を自信を持って継続していくことで、スカウト運動の理念や活動がさらに広く認知され理解されることにつながります。

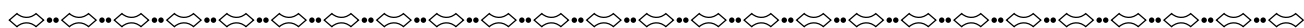
昨年度、松島自然の家で行われた仙台地区キャンポリーでの様々なプログラムやカントリー大作戦、また岩手・宮城内陸地震で被災された方々に「地震負けないで」「笑顔を決やさず頑張る」などのメッセージを添えた風鈴のプレゼントといった活動など、地域社会の課題や要請に対応したプログラムを実施し、感受性豊かな時期にある青少年の心を育むとともに、地域の連帯感を醸成することに寄与したことは誠に意義深い取組でありました。

指導者の皆様には、今後とも、青少年にとって、魅力ある活動、意義のあるプログラムを開発していただき、宮城の青少年が変化の激しい社会において、自立した人間として力強く生きていくためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

そして、今年度も、各地区での各団、各隊による活動が一層充実し、一人でも多くの青少年が仲間として加わることを期待しております。

最後になりますが、本日までご参会頂きましたボーイスカウト宮城県連盟の関係指導者、及びスカウト、そしてご臨席いただきましたご来賓の皆様の益々の弥栄を記念して総会に寄せることばといたします。

(平成21年5月9日：県連盟総会)



日本ボーイスカウト宮城県連盟長へ表敬訪問

事務局長 山田 洋司

宮城県教育庁生涯学習課のお世話によりまして、平成21年6月5日に日本ボーイスカウト宮城県連盟長であります村井宮城県知事と小林宮城県教育委員会教育長を表敬訪問しました。

青木生涯学習課長の進行により、村井宮城県知事と小林教育長からご挨拶いただきました。その後、芳賀理事長より本連盟役員の紹介を行いました。

紹介の後、5月の年次総会で村井宮城県知事が、日本ボーイスカウト宮城県連盟長に推戴されましたので、引き続き連盟長の役務をお願いしましたところ、快く引き受けていただく旨のお話をいただきました。

又、インフルエンザにより、今年の 3HTC・7NV
各大会の中止を報告しました。

表敬訪問者

千田副連盟長・芳賀理事長・・橋、東海林副理事長・山田事務局長・千葉コミッショナー



平成21年度県連盟役員（任期：平成23年年次総会終了まで）

連盟長	村井 嘉浩	学識経験理事	佐藤 友秀	名誉会議議員	布施 孝之
副連盟長	郷家 照夫	〃	中橋 邦	〃	日下 清
〃	千田 好男	〃	菅野 宏彦	〃	安達 清守
理事長	芳賀 文蔵	〃	村上 佳司	〃	山田 清八
副理事長	高橋 徳夫	〃	横澤 繁	〃	鏗谷 正幸
〃	東海林良雲	〃（事務局長）	山田 洋司	〃	堀越 祐寿
地区代表理事	南館 重義	監事	佐藤 善久	相談役	結城 時男
〃	菊地 彬夫	〃	野中 孝三	参与	大場 卓
〃	松原 健二	コミッショナー	千葉 義博	先達	佐々木重兵衛
〃	菅野 五郎	副コミッショナー	高橋 譲	長老	横谷 善作
〃	片寄 稔	〃	足利由美子	顧問	愛知 治郎
学識経験理事	高橋 忠	〃	松岡 大介	〃	中野 正志
〃	柿沼 富雄	名誉会議議員	堀江 一男	〃	西村 明宏
〃	新沼 壽一	〃	大久保 孝	〃	斎藤 正美
〃	太田 陽平	〃	中鉢 宏	事務局	大山由美子
〃	大久保晃男	〃	菊池 康博		

委員会紹介 野営行事委員会

委員長 大久保 晃男

県連盟野営行事委員会は、横澤理事を副委員長に各地区の野営行事委員長及び野営行事担当者を委員に7名で構成しております。

20年度の事業として、前任の委員長よりの引き継ぎ事項でもある「県連盟災害支援本部の設置並びに災害支援活動」の規程を作ることから始まりました。

宮城県沖地震と同等の大きな地震が近年に起こる事が予想されております。又、昨年は宮城県内陸地震が発生し、栗駒山を中心に大きな地殻変動が起こり、開拓地である耕英地区は大被害を受け避難生活を送られております。災害も身近な所にきています。県連盟に災害援助に関する規程を早急に作らなければならないことを痛感しました。

この程、2年掛けて原案を作り、幾度と修正を行い、20年9月の理事会に提案承認を頂き、各地区、各団に規程をまとめたものを配布することができました。

規定ができたからこれで良いと言う訳ではありません。この規程を活用し、運用しなければならないこと、それには対応できるようシミュレーションや実際に動いてみなければならないことと思います。

団の中で、地区の中で、そして県連盟としての実施展開や、ベンチャースカウトに対する災害支援活動の運営方法を周知し、常に支援活動に入れるように隊長から規程の支援アドバイスが必要となり「そなえよつねに」の如く、ベンチャースカウトが動ける体制を作っておけるように準備をお願い致します。

又、スカウトフォーラムですが、ベンチャースカウトのプログラムが少ない中での開催となっております。スカウトが参加されることにより面白く討論することができますので、多くのベンチャースカウトの参加を望みます。尚、県連スカウトフォーラムに参加されたスカウトの中から、北海道・東北ブロックフォーラム、全国フォーラム、日韓フォーラム、日米フォーラム等に派遣致します。

野営行事委員会は、フォーラムの運営を担当し、プログラム委員会と協力で企画実施を行っています。



平成21年度県連盟感謝・表彰

宮城県連盟

県連盟褒状（精励スカウト）

富士章スカウト 1664 森 淳一郎 泉第1団ベンチャースカウト隊
 1665 佐藤 祐希 泉第1団ベンチャースカウト隊

菊スカウト 753 鈴木 真理 泉第1団ボーイスカウト隊
 754 小林 貢平 多賀城第2団ボーイスカウト隊
 755 工藤 直也 名取第1団ボーイスカウト隊
 756 田端 花々子 泉第2団ボーイスカウト隊
 757 藤田 侑希 石巻第1団ボーイスカウト隊
 758 佐々木 琢朗 石巻第6団ボーイスカウト隊
 759 青木 七海 石巻第2団ボーイスカウト隊
 760 大橋 佑美 泉第2団ボーイスカウト隊
 761 山田 郁哉 仙台第1団ボーイスカウト隊
 762 吾妻 晴輝 仙台第37団ボーイスカウト隊
 763 伊藤 篤 仙台第37団ボーイスカウト隊
 764 山本 真由 名取第1団ボーイスカウト隊
 765 佐藤 建 名取第1団ボーイスカウト隊
 766 小形 枝里子 多賀城第2団ボーイスカウト隊

宗教章受章スカウト

神道章 菅野 宏幸 岩沼第1団ベンチャースカウト隊
 大村 健人 岩沼第1団ベンチャースカウト隊

県連盟特別有功章

加藤 寿光 塩釜第1団 副団委員長

県連盟有功章

東海林 隆一	仙台第1団	CS 隊長	高橋 仁志	名取第1団	団委員
早坂 光男	仙台第1団	BS 隊長	佐藤 昇	塩釜第1団	団委員
紺野 智博	仙台第12団	VS 隊長	吉岡 裕子	鹿島台第1団	BVS 副長
清水 美香	仙台第12団	団委員	榎 幹	鹿島台第1団	BS 隊長
千葉 有二	仙台第30団	育成会長	木村 敬	涌谷第1団	地区副コミ
菅井 仁	仙台第41団	BVS 隊長	氏川 馨	高清水第1団	CS 隊長
鈴木 譲司	仙台第45団	団委員長	浅沼 誠志	高清水第1団	BS 隊長
山田 直樹	仙台第45団	副団委員長	佐藤 貞七	迫第1団	団委員

日本連盟

日本連盟感謝章（平成21年5月30日 受章）

渡辺 裕 仙台地区スカウトクラブ

功労章（平成21年5月30日 受章）

かっこう章 佐藤 善久 県連盟監事

かっこう章 東海林 良雲 東部地区副協議会長 団委員長

団50年章（平成21年度 受章）

仙台 第30団

おめでとうございます。

地区便り

仙台地区年次総会開催・新役員

仙台地区広報委員長 柿沼 富雄

平成21年度の仙台地区年次総会が4月19日、当番団の岩沼第1団のご協力を得て、岩沼市民会館で開催されました。

来賓として、宮城県連盟千田理事長を迎え祝辞をいただき、スカウト増加団として、仙台第45団・岩沼第1団が表彰されました。

会議に入り、岩沼第1団副団委員長 佐藤出氏が議長を務めました。

新役員には

地区協議会会長：芳賀 文蔵（仙台第1団）

地区協議会副会長：井藤 晃（仙台第11団）

地区委員長：菊地 彬夫（仙台第11団）

地区副委員長：橋浦 寛（名取第1団）

〃 副委員長：今野利夫（仙台第28団）

事務長：浅沼 勝（仙台第28団）

以上の方々が選任されました。

石巻地区年次総会開催・新役員

石巻地区組織広報副委員長 榛澤 達夫

第42回定時総会が平成21年4月26日、石巻市中央公民館に於いて行われ次の新役員が選任されました。

地区協議会会長：鯉谷正幸（石巻第1団）

地区協議会副会長：新沼壽一（石巻第6団）

〃 副会長：菊地康博（石巻第2団）

地区委員長：菅野五郎（石巻第6団）

〃 副委員長：色川新治（石巻第1団）

事務長：色川新治（石巻第1団）

団便り

お茶・お花の体験

泉第2団ビーバー隊隊長 山本 武志

泉第2団カブ隊、ビーバー隊は、年2回「体験を通して、芸術、文化、作法を学ぶ」ことを目標にお茶・お花の体験を行っています。

過日、今年度2回目の体験を団本部にて行いました。最初はお茶の体験です。講師の先生より説明と見本を見せていただいた後、スカウト一人一人がお茶を立てました。中には「やることすべてが初体験」というスカウトもいて、キョロキョロ周りを見てばかりでしたが、先生が付いてひとつひとつ教えていただき、全員立てることができました。すぐ飲もうとするスカウトを制し、飲む前、飲んだ後、お菓子の食べ方の作法を確認し全員でいただきました。苦味で飲めないスカウトがいるのではと思っていましたが、中には「おかわり」という声も聞かれました。

続いてお花の体験です。先生から用意していただいたお花から好きなものを選び、一輪挿しに形よく生けるために、はさみを使って葉を切り落とし、飾りを加えて一人一人個性あふれた一輪挿し

が出来上がりました。成果品は、家へのお土産としました。

また、この日はスカウトの保護者の方々にも参加を呼びかけました。スカウトの活動内容を見ていただき、お花の体験をしている時間帯には、「親の会」と称し保護者、団本部役員、指導者が集まりスカウト活動について意見交換会を実施しました。保護者と団側との方向性の違いがないかを確認する場として今後も行っていくことで考えております。



団便り

5月の3泊4日キャンプ

塩釜第1団ボーイ隊 木村 竜輝

日程 : 2009年5月2日(土)～5日(火) 3泊4日

場所 : 大木団員塚 (七ヶ浜町)

今回の4日間のキャンプを通して僕が一番印象に残ったのは、20kmハイキングと無人島でのいかだ作りでした。特に全日程参加した人達には印象が強いと思いました。

20kmハイキングは長時間歩いたので、すごく疲れましたが、歩きながら海も見られて楽しめました。このハイキングを通して、体力も少しくらいはついたと思いました。

無人島探検では山道を歩いたり、行き止まりに行ってしまったたりして疲れましたが、その後おこなった“いかだ作り”は実はもっと大変でした。なぜなら、竹はできるだけ腐っていないものを探してこなければならず、組み立てではかなりきつめにロープで縛らなければいけないからです。かくして完成した“いかだ”は、なんと最高3人し

か乗れなくてガタガタでした。また、最後にいかだを解体する時も大変で、丸太を結んだ麻ひもがなかなか外れず、とても苦労しました。しかし、とても印象に残ったキャンプでした。



がんばったね、カブスカウト「写真優秀賞・スーパーカブ章・友情章」



このたび、第36回全国ボーイスカウト写真コンテストにおいて応募総数720点(少年の部370点、青年、成人の部350点)の中から、厳正な審査の結果、カブスカウト隊の矢本西小5年生の加

藤大和君が少年の部で優秀賞を取得(タイトル「みんなで「レッツゴー」ハイキング」)さらに、チャレンジ章を全課目終了しスーパーカブに輝きました。ちょうど、5月24日サンファン祭りスカウトランドのちびっ子広場奉仕活動があり、ビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウトの全スカウトが集合し、同時に古賀慶太郎君が友達3人をカブスカウトへ入隊させ。その栄光の友情パッチを取得、皆のまえて表彰されました。

加藤 大和君

僕は、ボーイスカウトに入った時40個あるチャレンジ章が出来るか不安でした。その中で一番むずかしかったのは、「国際」です。理由は、ベーデンパウエルが生まれた国「イギリス」を調べ

石巻第6団 組織広報副委員 榛澤 達夫

るのが難しかったです。でも上手くまとまったので良かったです。一番楽しかったのは、「水泳選手」です。理由は、平泳ぎで息が切れて苦しかったけど、水泳が好きなので楽しかったです。一番大変だったのは、「乗り物博士」です。理由は、乗り物の資料を集めて調べるのが大変でした。その他にももっといっぱい大変だったりもしましたが、いつも、いつもお父さんとお母さんが励ましてくれたので頑張れたと思います。スカウト皆の前で表彰式があり、賞状をもらった時「本当にスーパーカブに成ったんだなあ～」と思ってとってもうれしかったです。隊長さんからは、カッコいい楯をいただきうれしかったです。それから、写真コンクールに応募した写真が「優秀賞」に選ばれ2度、表彰されて2倍のうれしさがありました。僕は、これからもボーイスカウトを頑張っていきたいです。



オーバーナイトハイク I N 松島～石巻

石巻第6団ボーイスカウト隊隊長 加藤 光巖

5月28日午後10時30分仙石線松島海岸駅集合、カブスカウトくま班も9月上進を前に参加しました。ボーイのお兄さんやお姉さんが地図をチェック、石巻市街まで約30km、カブスカウトは手樽駅まで約4.3km歩きました。

カブスカウト 齋藤 貴浩君

オーバーナイトハイクをして思ったことが2つあります。1つ目は、ねむくなることです。正直、最初の1Kmは大丈夫だったけどあとからは、ねむけとのたたかいでした。2つ目は、来年の事です。今年は4.3kmという短い距離だったけど来年はその何倍も歩くのががんばらないとなあと思いました。次はフルで歩くので体調に気を付けたいです。

カブスカウト武山 海司君

ぼくが楽しかったのは、ずっと歩くことです。最初はらくでした、でもだんだんきつくなってきて足がいたくなりました。その次の日はきん肉つうになっていると思ったらなりませんでした。



カブスカウト 加藤 大和君

ボーイスカウトのみんなとナイトハイクをしました。松島から手たるまでボーイ隊はへっちゃらだったけど、暗やみの中をライトだけで歩いたのはこわかったし、足がくたくたになってチョットきつかったです。ボーイ隊は「あんな暗やみの中ヘットライトだけで石巻まで歩くなんてすごいなあ」と思いました。ぼくもボーイ隊に上進したらゴールまで寝ないで行けたらいいなあ～と思いました。

ボーイスカウトゾウ班 阿部 諄生君

4月28日、夜10時今年のオーバーナイトハイクがスタートした。僕達ゾウ班は1番早く地図を読図し松島駅前を出発した。この日は天気がよかったが海岸沿いという事もあり風は冷たかった。今年で2度目の参加だが昨年より距離が長かったので完走出来るか心配だった。僕達はとにかく歩いた。歩いて、歩いて、歩き続けた。初めのうちは話もして楽しかったが、だんだん足の痛みと疲れが出てからはただ歩くばかりであった。でも、途中でお母さん達が準備してくれた夜食のうどんはとても美味しく冷えた体も暖まった。鳴瀬大橋を渡り終えた時ちょうど朝日が登って来て長い時間歩いたんだなあ実感した。無事一位でゴールする事ができ最後まであきらめない事と仲間との協力が大切だということがわかった。

交通安全教室開催

仙南地区広報委員長 大沼 茂雄

5月17日(日)、白石第1団主催、南蔵王自動車学校後援により、南蔵王自動車学校を会場に交通安全教室が開催されました。当日は雨降りの天気になりましたが、隊指導者・保護者10名、ビーバーからベンチャーまでのスカウト約30名の参加となりました。

新学期になり、スカウトは自分の自転車を使い教習所のコース上での教室の予定でしたが、雨天のため内容を変更。シートベルト体感機を使って大切さを実感したり、教習所教官から交通安全講話と内容確認テストをおこなったりしました。指導者・保護者は実車によるABS制動体験と大型

車・大特車・大型けん引等の操縦体験と、貴重な体験をしました。みな、あらためて交通安全への意識を強くした教室となりました。会場となり、後援していただいた南蔵王自動車学校様に感謝いたします。



募金活動での出来事



塩竈第3団 広報委員 小野 正

4月4日(日)に緑の羽根募金活動をしているところでした。

利府ジャスコ入口で行いました。

この日は風が冷たく大変な中、スカウトは元気な、大きな声を出して募金をお願いしていました。小さな子からお年寄りの方など多くの人から募金を頂きました。

その中でのこと・・・

自転車に乗って来た青年に挨拶をされ話をしているうちに、ぼくも小さいときボーイスカウト

に入隊していて途中都合で退団したことを聞いて私はその青年の顔をみて「だれそれ君か？」

「はいそうです・・・」

うれしそうに微笑んでいました。

いろいろ近況など話してくれました。別れ際に「スカウト活動がんばって・・・」帰って行きました。以上その日の出来事でした。



スカウト活動が学校教材に

岩沼第1団カブ隊DL 原間井 優子

スカウト活動が平成21年度の学校教材に登場しました。

今学期に入り、仙台市教育委員会では小学校の5年生の国語の教材『いっしょに国語 上』に、平成18年4月10日付河北新報の掲載記事が紹介されていたのです。

『寒さをこらえ夜道を踏破 岩沼のボーイスカウト』という見出しでしたので親もビックリ。参加した子どもも自分達の活動が学校で勉強することになったので自信タツプリで勉強していました。



3HTC・7VCが、新型インフルエンザの流行で、中止となりました。



訃報

谷口継義氏 仙台第41団団委員長(4月3日逝去)

(元仙台地区委員長・日本連盟リーダートレーナー)

千葉正雄氏 仙台第28団カブ隊隊長(3月29日逝去)

長年に亘るボーイスカウト活動に感謝申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

新型インフルエンザの流行で世界中が大騒ぎ、そんな中スカウトみやぎ22号をお届けします。/21年度の総会も登米市迫町で無事終了。芳賀新理事長体制で船出した。/広報委員会は堀越委員長・渡辺副委員長の両氏が勇退。委員会にとって大きな痛手ですが長い間ありがとうございました。/(こちらも痛手)新型インフルエンザの流行で3HTC・7VCも中止となった。(子供たちの期待をつぶす様で心苦しいですが、危機管理上の問題でしかたありませんと残念の一言)仙台第28団乙訓BS隊長。(柿)

■ 発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■ 編集 宮城県連盟広報委員会

委員長 柿沼富雄

委員 榛澤達夫 大沼茂雄

砂押名湖 大友和弥

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-325-6267

■ 印刷 株式会社小野寺印刷所